

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（9月定例会）会議録
開催日時	平成30年10月2日（火）午後4時30分から午後5時まで
開催場所	保谷庁舎4階研修室
出席者	委員：内田委員、木下委員、攝賀委員、沼本委員、長谷川委員、 服部委員、原委員、原田委員、矢野（真）委員 事務局：堀主幹、桂主任、青木主事
議題	(1) 地域学校協働活動について (2) その他
配付資料	参考配布：平成30年度 第18回西東京市民文化祭について 西東京市 図書館だより 71号 東京の文化財 第125号 とうきょうの地域教育 No. 133
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成30年8月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 地域学校協働活動について</p> <p>○議長：本日の研修会の内容を踏まえて、感想やご意見をうかがいたい。</p> <p>○委員：地域学校協働活動を進めていくにあたって、核となる人が重要である。 今回の事例はボランティアではなく委嘱という形であったが、どのような形であれ人材の確保に向けて取り組むべきと感じた。</p> <p>○委員：協働という言葉は昔からあるものの、共に考え進めていく協働本来の意味とは異なっているのが実態である。成功事例を真似るだけでなく、地域の特性を生かして地域学校協働活動を進めていく必要があると感じた。</p> <p>○委員：地域を盛り上げたいがどう進めていくべきかわからない市民もいる。そのような市民を巻き込み、自治会などと連携しながら地域学校協働活動に取り組めるきっかけ作りを検討できればと考える。</p> <p>○委員：「学校は疲れている」というのはそのとおりだと思う。地域コーディネーターの確保は課題である。ボランティア〇×クイズは多くの人に実施してもらってはどうか。現状、学校に対する匿名の苦情が多いが、学校は発信することができるので、良い情報も積極的に共有してほしい。</p> <p>○委員：学校と地域が双方向で連携していかなければならないと再認識できた。</p> <p>○委員：地域学校協働活動の基礎作りを目的として、モデル校を選定した方が良いのではないか。活動内容についても、今あるものからまずは1つという形でも良いと思うので、市として取り組む仕組み作りを進めてほしい。</p> <p>○委員：新設の学校が地域に根ざすには、地域と連携を密にして理解されることが重</p>	

要であると当時の校長が言ってくれた。学校の下請けになるのではなく、市民や地域からも提案し共に子どもたちの場を作り上げていくことが大切だと感じた。

- 委員：学校は疲れているということもあり、学校支援でもよいのではないかと考えていたが、今日の話聞いて共に考え進めていく協働が大切であると感じた。
- 委員：地域を盛り上げたいがどう進めていくべきかわからない市民や地域の担い手の育成を目的として、中高生の参画に向けた議論を進めていくことが望ましい。
- 委員：視覚的カリキュラムの事例はとても参考になった。学校の中に場を作ることの重要性を再認識できた。学校に携わる多くの人が今回の研修の内容に触れることで、意識が変わるのではないかと考える。

## (2) その他

- 議長：以上で本日の社会教育委員の会議（9月定例会）は終了する。

※次回会議 10月25日（木）午後2時から  
保谷庁舎3階 第2会議室